

開催報告

第3回未来ビークルリサーチセンター連携融合事業成果報告会

未来ビークルリサーチセンター 准教授 上原秀幸

平成20年10月20日、本学ひばりラウンジにおいて、今回で3回目となる未来ビークルリサーチセンター連携融合事業成果報告会を開催したので報告する。当日のプログラムとシンポジウムの様子を末尾に掲載したのでご覧頂きたい。

未来ビークルリサーチセンターは、平成16年12月の開設以来、文部科学省ならびに豊橋市、田原市の支援のもとに統合学術研究拠点としての独自の連携融合事業を展開してきている。本報告会では、平成19年度に実施された8件の連携融合プロジェクトの活動成果が報告された。昨年は9月に予防安全シンポジウムと共催していたが、本年度はスケジュールの都合により10月に単独開催となった。また、報告者と参加者の議論の活発化を促すため、口頭発表ではなくポスターセッションでの実施を試みた。単独開催のため参加者数は若干減少したが、会場では濃密で活発な議論が展開され、本報告会の活性化は図られたと考えている。

最後に、本事業を展開するにあたりご支援頂いた関係者各位、ならびに本報告会を開催するにあたりご協力頂いた皆様にこの場をお借りして御礼申し上げたい。今後も変わらぬご支援ご協力を賜れば幸甚である。

=====

第3回未来ビークルリサーチセンター連携融合事業報告会

日時：平成20年10月20日(月)13:30～14:50

会場：豊橋技術科学大学 ひばりラウンジ

主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター

後援：豊橋市、田原市

共催：豊橋商工会議所、田原市商工会

◇プログラム

13:10 受付開始

13:30 主催者代表挨拶

13:40 ポスターセッション

14:40 自治体関係者代表による講評および挨拶

14:50 閉会

◇報告一覧

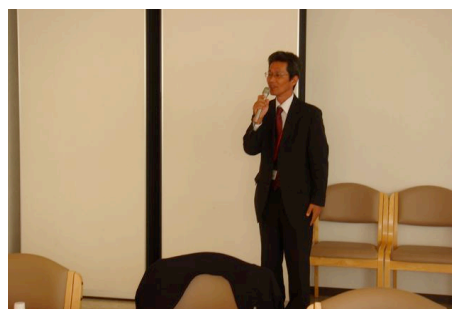
[1] リサイクル性を考慮したハイブリッド車体用アルミ/鋼接合法の研究

安井利明(生産コア・環境コア：代表者)、椿正巳(生産コア)、福本昌宏(生産コア・環境コア)、戸田裕之(生産コア)、竹中俊英(環境コア)、太田昭男(3系)、稲田亮史(3系)

- [2] 最先端磁気センサ技術を応用した異種金属溶接の検査およびアルミ容器診断技術の開発
田中三郎（環境コア：代表者），廿日出 好（8系），竹中俊英（環境コア）
- [3] 電気ビークル用次世代電池の開発とエネルギーステーションの検討
滝川浩史（環境コア：代表者），桶 真一郎（3系）
- [4] 自動車産業からの多角化のための技術的経営（MOT）手法の開発
藤原孝男（経営コア：代表者） 渋澤博幸（経営コア），近藤邦治（中部経済連合会ベンチャービジネス支援センター） 山口 誠（9系），宮田 譲（9系）
- [5] 音声・画像・生体情報を統合する適応運転支援システムの開発
章 忠（安全コア：代表者），三宅哲夫（2系），中川聖一（情報コア），廣島康裕（安全コア），新田恒雄（7系），安田好文（体育，保健センター），今村 孝（2系）
- [6] 次世代自動車エアコン用冷媒の完全処理による環境負荷低減と再資源化
金 熙濬（環境コア：代表者），小口達夫（8系），南 亘（8系）
- [7] 自動車部材のための銅基複合皮膜の創製
福本昌宏（生産コア：代表者），山田基宏（2系），安部洋平（研究基盤センター）
- [8] 可変指向性アンテナを用いた車々間/路車間協調ネットワークの構築
上原秀幸（情報コア：代表者），大平 孝（4系）



ポスターセッションの様子



挨拶される豊橋市産業部港湾活性課の岡田様